

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 3年 6月 25日
住 所 羽生市小松台1-516-10
県内企業等の名称 金子農機株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 金子常雄

金子農機株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は、大正元年(1912年)の創業以来、一心精神(創造開拓、革新向上、刻苦健闘、目標完遂、喜働愛和、感謝貢献)を社訓として、安定した食糧生産を可能にする世界の農業機械化に貢献すること、また従業員の幸福、取引先との共存共栄を常に心掛け、社業に取り組んでいます。これは、持続可能な開発目標(SDGs)と一致しており、達成に向けて更に積極的な活動を進め、社会の中でその役割を果たして参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①コピー用紙使用量の削減 ②再生可能エネルギー発電量の向上 ③環境性能の高い営業車両運用の向上 <2020年の数値> ①使用量(カウント数):586,353枚 ②太陽光発電量:436,661kW ③ハイブリッド車の割合(2021年):35%	<2030年に向けた指標> ①使用量:5%削減 ②太陽光発電量:5%UP ③75% <取組開始3年後に向けた指標> ①使用量:1.5%削減 ②太陽光発電量:1.5%UP ③50%
社会	①従業員の年次休暇取得の向上 ②積極的な献血参加 <2020年の数値> ①取得日数:10.4日/年 ②献血活動:2回/年、延べ人数:22名	<2030年に向けた指標> ①取得日数:11.5日/年 ②延べ人数:10%UP <取組開始3年後に向けた指標> ①取得日数:10.7日/年 ②延べ人数:3%UP
経済	環境に配慮するなど社会問題の解決に資する新製品を開発する。 <2020年の数値> 開発件数:1件(開発期間約5年)	<2030年に向けた指標> 開発件数:3件(開発期間10年) <取組開始3年後に向けた指標> 開発件数:1件(開発期間3年)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。